

男女共同参画に関する意識について

西宮市では、男女共同参画プランに基づき、「誰もが性別にとらわれることなく、互いに尊重し合い、一人ひとりの力を活かすことのできる社会の実現」を目指し取り組みを進めています。

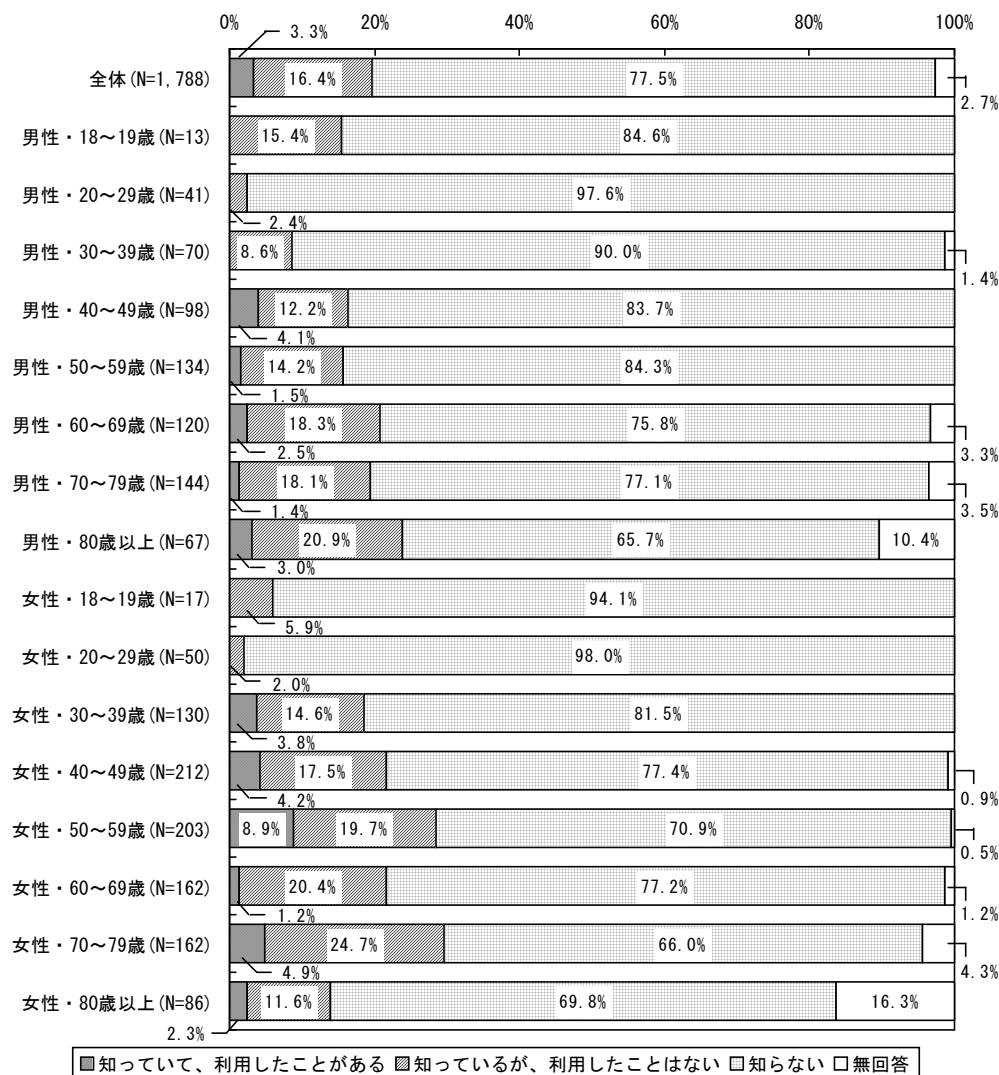
みなさまの「男女共同参画」に関する意識やご意見をうかがい、今後の事業実施に役立てたいと考えています。

問 25. 西宮市に男女共同参画センターウェブがあることを知っていますか。

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 男女共同参画センターウェブの認知度をみると、「知っていて、利用したことがある」が3.3%、「知っているが、利用したことはない」が16.4%となっている。また、「知らない」が77.5%となっている。
- 性・年齢別にみると、「知っていて、利用したことがある」の割合は、すべての性・年齢で10%未満となっているが、50歳代の女性（8.9%）で全体に比べてやや多い。
- 「知らない」の割合は、30歳代以下の男性、および、20歳代以下の女性では、全体に比べて多い。

■男女共同参画センターウェブの認知度

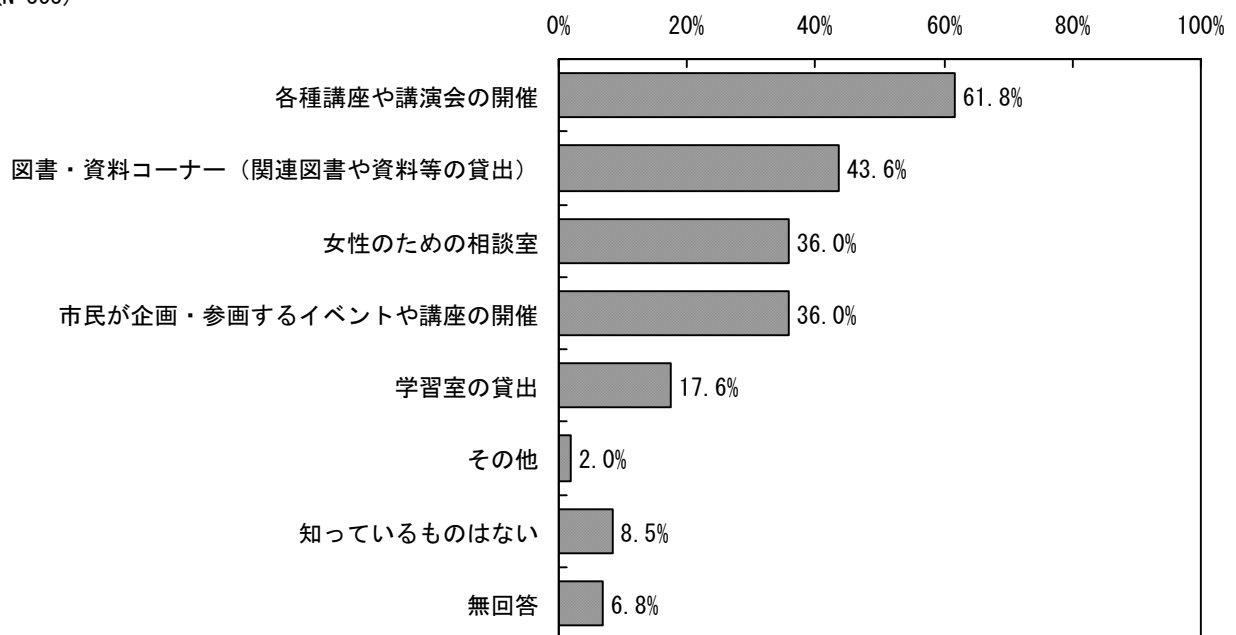


問 26. 問 25 で「知っていて、利用したことがある」・「知っているが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。男女共同参画センターウェブの事業について、知っているものをすべて選んで○をつけてください。

- 男女共同参画センターウェブの事業の認知度をみると、「各種講座や講演会の開催」(61.8%)が最も多く、次いで「図書・資料コーナー(関連図書や資料等の貸出)」(43.6%)、「女性のための相談室」「市民が企画・参画するイベントや講座の開催」(ともに 36.0%)となっている。また、「知っているものはない」が8.5%となっている。

■男女共同参画センターウェブの事業の認知度(複数回答)

(N=353)



- 性別にみると、男性では「女性のための相談室」の認知度が全体に比べて少ない。
- 女性はすべての事業の割合が男性より多くなっており、とくに、「女性のための相談室」「各種講座や講演会の開催」が10ポイント以上多い。

■性別 男女共同参画センターウェブの事業の認知度（複数回答）

単位：％

| | N (有効回答者数) | 各種講座や講演会の開催 | 連図書・資料コーナー(関) | 女性のための相談室 | 市民が企画・参画するイベントや講座の開催 | 学習室の貸出 | その他 | 知っているものはない | 無回答 |
|----|---------------|-------------|---------------|-----------|----------------------|--------|-----|------------|------|
| 全体 | 353 | 61.8 | 43.6 | 36.0 | 36.0 | 17.6 | 2.0 | 8.5 | 6.8 |
| 男性 | 115 | 54.8 | 42.6 | 25.2 | 35.7 | 13.9 | 1.7 | 8.7 | 11.3 |
| 女性 | 225 | 66.7 | 44.0 | 40.9 | 37.3 | 19.6 | 2.2 | 7.6 | 4.0 |

- 表内の薄い網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。
- 表内の濃い網掛け部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

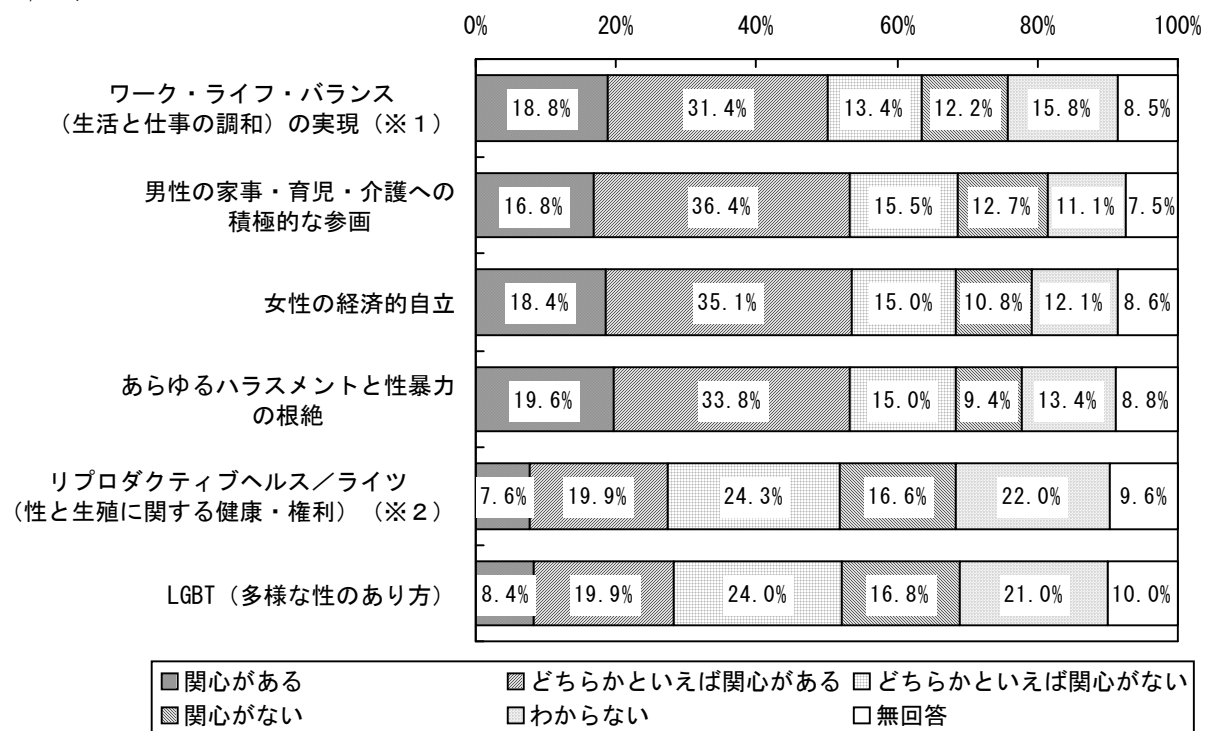
問 27. 男女共同参画において、どの分野に関心がありますか。

それぞれ、あなたの考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 男女共同参画における関心がある分野をみると、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合は、〈女性の経済的自立〉(53.5%)、〈あらゆるハラスメントと性暴力の根絶〉(53.4%)、〈男性の家事・育児・介護への積極的な参画〉(53.2%)、〈ワーク・ライフ・バランスの実現〉(50.2%)が、いずれも5割強となっている。
- 他の2つの分野はいずれも3割弱となっている。

■男女共同参画における関心がある分野

(N=1,788)



※1 ワーク・ライフ・バランス：誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できること

※2 リプロダクティブヘルス/ライツ：女性が生涯にわたり、身体的・精神的・社会的に良好な状態であり、子どもを産むかどうか、いつ産むかなどについて選択し、自ら決定する権利のこと

● 選択肢の「G. その他」については、自由記述形式をとっており内容に統一性がないため結果には表示していない。

● 分析コメント中の「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合(%)は、それぞれの回答数を合計して算出し、小数点第2位以下を四捨五入している。このため、グラフ中の構成比の合計と一致しない場合がある。

- 性・年齢別に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合をみると、すべての分野において、30歳代以下の女性の関心が高い。また、〈女性の経済的自立〉では40～60歳代の女性、〈ワーク・ライフ・バランスの実現〉では40～50歳代の女性の関心も全体に比べて高い。
- 男性では、20歳代では、〈あらゆるハラスメントと性暴力の根絶〉〈ワーク・ライフ・バランスの実現〉、30歳代では、〈男性の家事・育児・介護への積極的な参画〉〈ワーク・ライフ・バランスの実現〉への関心がそれぞれ全体に比べて高い。
- 男女共に70歳以上ではすべての分野で関心が低い傾向にあるが、30歳代以外の男性では、〈女性の経済的自立〉への関心が全体に比べて低い。

■性・年齢別 男女共同参画における関心がある分野 「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合

単位：％

| 「関心がある」 + 「どちらかといえば 関心がある」 | N (有効回答者数) | ワーク・ライフ・ バランスの 実現 | 男性の家事・ 育児・介護への 積極 参画 | 女性の経済的 自立 | あらゆる ハラスメント と性暴力の 根絶 | リプロダク ティブヘル ス／ライ ツに関する 健康・権 利 | L G B T (多様な性 のあり方) |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------|-------------------------------|--------------|-------------------------------|--|------------------------------------|
| 全体 | 1,788 | 50.2 | 53.2 | 53.5 | 53.4 | 27.5 | 28.2 |
| 男性・18～19歳 | 13 | 53.8 | 69.2 | 38.5 | 46.2 | 30.8 | 38.5 |
| 男性・20～29歳 | 41 | 63.4 | 58.5 | 41.5 | 63.4 | 34.1 | 36.6 |
| 男性・30～39歳 | 70 | 71.4 | 72.9 | 57.1 | 50.0 | 25.7 | 30.0 |
| 男性・40～49歳 | 98 | 58.2 | 55.1 | 43.9 | 51.0 | 35.7 | 33.7 |
| 男性・50～59歳 | 134 | 54.5 | 46.3 | 36.6 | 47.8 | 23.1 | 27.6 |
| 男性・60～69歳 | 120 | 40.8 | 44.2 | 39.2 | 56.7 | 23.3 | 20.8 |
| 男性・70～79歳 | 144 | 30.6 | 38.2 | 38.9 | 45.1 | 17.4 | 13.2 |
| 男性・80歳以上 | 67 | 28.4 | 34.3 | 23.9 | 29.9 | 14.9 | 10.4 |
| 女性・18～19歳 | 17 | 64.7 | 94.1 | 76.5 | 70.6 | 41.2 | 70.6 |
| 女性・20～29歳 | 50 | 74.0 | 78.0 | 74.0 | 70.0 | 54.0 | 52.0 |
| 女性・30～39歳 | 130 | 74.6 | 76.9 | 72.3 | 68.5 | 45.4 | 46.2 |
| 女性・40～49歳 | 212 | 65.6 | 58.5 | 71.2 | 59.9 | 30.7 | 37.7 |
| 女性・50～59歳 | 203 | 62.6 | 59.1 | 69.5 | 62.6 | 36.9 | 37.4 |
| 女性・60～69歳 | 162 | 45.7 | 56.8 | 64.2 | 58.0 | 22.8 | 27.8 |
| 女性・70～79歳 | 162 | 25.9 | 43.8 | 45.1 | 45.1 | 18.5 | 14.2 |
| 女性・80歳以上 | 86 | 17.4 | 29.1 | 39.5 | 32.6 | 9.3 | 5.8 |

- 表内の薄い網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。
表内の濃い網掛け部分は、全体を10ポイント以下下回るものを示している。
- 表中の「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合(%)は、それぞれの回答数を合計して算出し、小数点第2位以下を四捨五入している。このため、グラフ中の構成比の合計と一致しない場合がある。

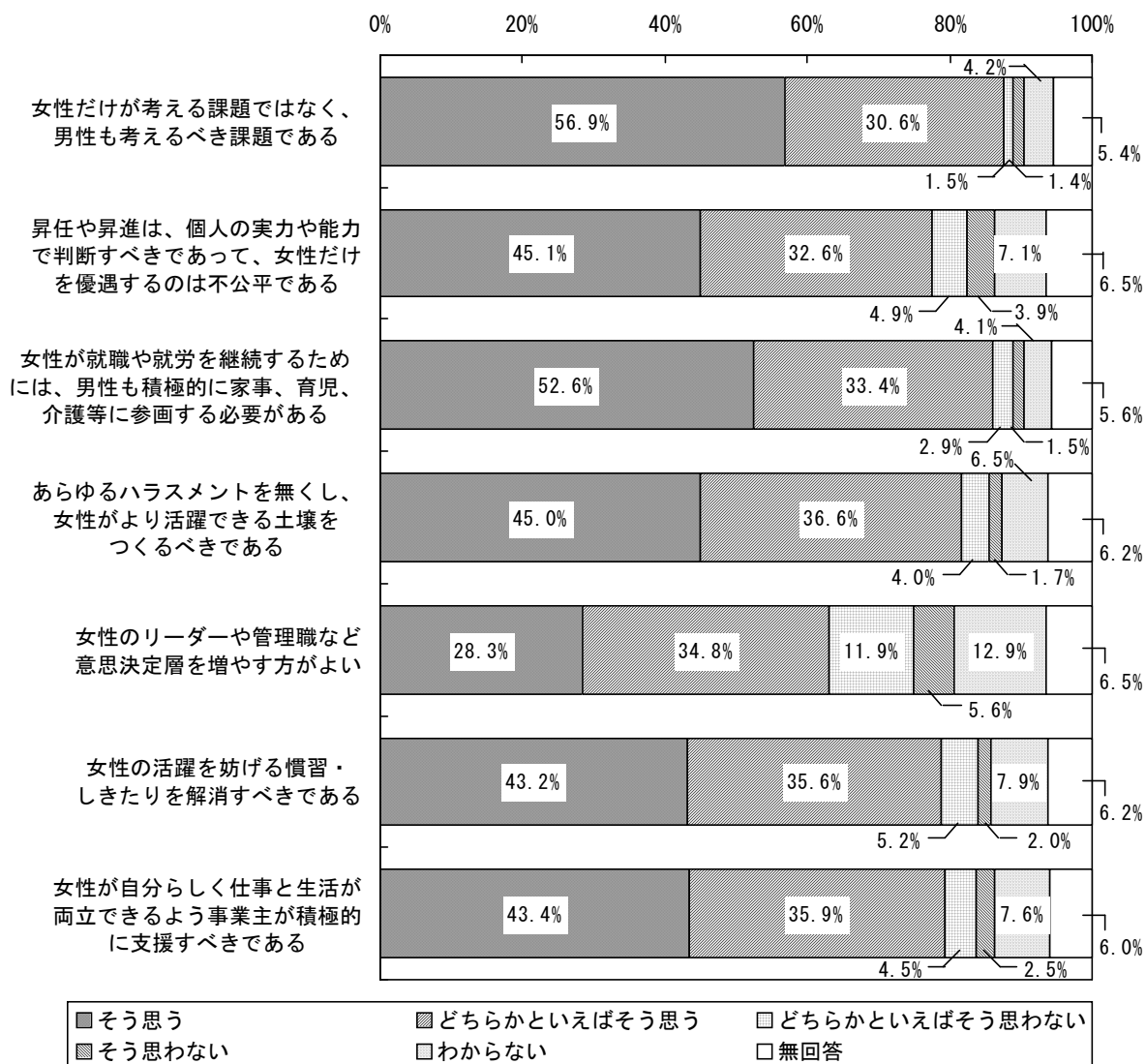
問 28. あなたは社会における女性活躍のあり方をどのように考えますか。

それぞれ、あなたの考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 社会における女性活躍のあり方をみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合は、〈女性だけが考える課題ではなく、男性も考えるべき課題である〉(87.5%)で最も多く、次いで〈女性が就職や就労を継続するためには、男性も積極的に家事、育児、介護等に参画する必要がある〉(86.0%)となっている。
- 〈あらゆるハラスメントを無くし、女性がより活躍できる土壌をつくるべきである〉(81.6%)、〈女性が自分らしく仕事と生活が両立できるよう事業主が積極的に支援すべきである〉(79.3%)、〈女性の活躍を妨げる慣習・しきたりを解消すべきである〉(78.7%)、〈昇任や昇進は、個人の実力や能力で判断すべきであって、女性だけを優遇するのは不公平である〉(77.6%)は、いずれも8割前後となっている。
- 〈女性のリーダーや管理職など意思決定層を増やす方がよい〉(63.1%)は約6割となっている。

(N=1,788)

■社会における女性活躍のあり方



- 選択肢の「H. その他」については、自由記述形式をとっており内容に統一性がないため結果には表示していない。
- 分析コメント中の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合(%)は、それぞれの回答数を合計して算出し、小数点第2位以下を四捨五入している。このため、グラフ中の構成比の合計と一致しない場合がある。

- 性・年齢別に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合をみると、〈あらゆるハラスメントを無くし、女性がより活躍できる土壌をつくるべきである〉は30歳代の女性、〈女性が自分らしく仕事と生活が両立できるよう事業主が積極的に支援すべきである〉〈昇任や昇進は、個人の実力や能力で判断すべきであって、女性だけを優遇するのは不公平である〉は40歳代の女性で、それぞれ全体に比べて最も多い。他の項目は20歳代の女性で全体に比べて最も多い。
- 男女共に80歳以上では全ての分野で関心が低い傾向にあるが、70歳代の女性では、〈女性が自分らしく仕事と生活が両立できるよう事業主が積極的に支援すべきである〉〈女性の活躍を妨げる慣習・しきたりを解消すべきである〉が全体に比べて少ない。

■性・年齢別 社会における女性活躍のあり方 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合

単位：％

| 「そう思う」 ＋ 「どちらかといえば そう思う」 | N (有効回答者数) | 男性 女性 も だけ 考 え る べ き 課 題 で は な く、 | を 優 遇 す る の は 不 公 平 で あ る | で 判 断 す る べ き で あ る | 昇 任 や 昇 進 は、 個 人 の 実 力 や 能 力 | 児 に 関 心 が あ る | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | 女 性 が 就 職 を 続 け る た め | |
|-----------------------------------|---------------|---|---|--|---|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 全体 | 1,788 | 87.5 | 77.6 | 86.0 | 81.6 | 63.1 | 78.7 | 79.3 | 69.2 | 61.5 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 |
| 男性・18～19歳 | 13 | 84.6 | 76.9 | 84.6 | 69.2 | 61.5 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 61.5 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 | 69.2 |
| 男性・20～29歳 | 41 | 87.8 | 85.4 | 92.7 | 85.4 | 61.0 | 85.4 | 73.2 | 85.4 | 61.0 | 85.4 | 85.4 | 73.2 | 85.4 | 61.0 | 85.4 | 73.2 | 85.4 |
| 男性・30～39歳 | 70 | 94.3 | 85.7 | 94.3 | 84.3 | 68.6 | 88.6 | 88.6 | 84.3 | 68.6 | 88.6 | 88.6 | 88.6 | 84.3 | 68.6 | 88.6 | 88.6 | 84.3 |
| 男性・40～49歳 | 98 | 93.9 | 83.7 | 92.9 | 82.7 | 62.2 | 79.6 | 78.6 | 82.7 | 62.2 | 79.6 | 78.6 | 78.6 | 82.7 | 62.2 | 79.6 | 78.6 | 82.7 |
| 男性・50～59歳 | 134 | 87.3 | 78.4 | 87.3 | 86.6 | 61.2 | 83.6 | 80.6 | 86.6 | 61.2 | 83.6 | 80.6 | 80.6 | 86.6 | 61.2 | 83.6 | 80.6 | 86.6 |
| 男性・60～69歳 | 120 | 88.3 | 77.5 | 80.8 | 80.8 | 59.2 | 76.7 | 75.0 | 80.8 | 59.2 | 76.7 | 75.0 | 75.0 | 80.8 | 59.2 | 76.7 | 75.0 | 80.8 |
| 男性・70～79歳 | 144 | 82.6 | 75.7 | 79.9 | 76.4 | 65.3 | 79.2 | 74.3 | 76.4 | 65.3 | 79.2 | 74.3 | 74.3 | 76.4 | 65.3 | 79.2 | 74.3 | 76.4 |
| 男性・80歳以上 | 67 | 62.7 | 55.2 | 56.7 | 58.2 | 43.3 | 61.2 | 62.7 | 58.2 | 43.3 | 61.2 | 62.7 | 62.7 | 58.2 | 43.3 | 61.2 | 62.7 | 58.2 |
| 女性・18～19歳 | 17 | 94.1 | 76.5 | 94.1 | 82.4 | 70.6 | 94.1 | 82.4 | 94.1 | 70.6 | 94.1 | 82.4 | 82.4 | 94.1 | 70.6 | 94.1 | 82.4 | 94.1 |
| 女性・20～29歳 | 50 | 98.0 | 82.0 | 96.0 | 90.0 | 76.0 | 94.0 | 92.0 | 90.0 | 76.0 | 94.0 | 92.0 | 92.0 | 90.0 | 76.0 | 94.0 | 92.0 | 90.0 |
| 女性・30～39歳 | 130 | 97.7 | 86.2 | 94.6 | 93.8 | 72.3 | 93.1 | 90.8 | 93.8 | 72.3 | 93.1 | 90.8 | 90.8 | 93.8 | 72.3 | 93.1 | 90.8 | 93.8 |
| 女性・40～49歳 | 212 | 96.7 | 87.3 | 93.9 | 87.3 | 66.0 | 84.9 | 92.5 | 87.3 | 66.0 | 84.9 | 92.5 | 92.5 | 87.3 | 66.0 | 84.9 | 92.5 | 87.3 |
| 女性・50～59歳 | 203 | 92.1 | 80.8 | 93.1 | 89.7 | 70.0 | 85.2 | 85.2 | 89.7 | 70.0 | 85.2 | 85.2 | 85.2 | 89.7 | 70.0 | 85.2 | 85.2 | 89.7 |
| 女性・60～69歳 | 162 | 94.4 | 81.5 | 93.2 | 88.3 | 72.8 | 82.7 | 85.2 | 88.3 | 72.8 | 82.7 | 85.2 | 85.2 | 88.3 | 72.8 | 82.7 | 85.2 | 88.3 |
| 女性・70～79歳 | 162 | 79.6 | 71.6 | 79.6 | 74.1 | 54.9 | 63.0 | 67.3 | 74.1 | 54.9 | 63.0 | 67.3 | 67.3 | 74.1 | 54.9 | 63.0 | 67.3 | 74.1 |
| 女性・80歳以上 | 86 | 57.0 | 48.8 | 53.5 | 52.3 | 44.2 | 47.7 | 52.3 | 52.3 | 44.2 | 47.7 | 52.3 | 52.3 | 44.2 | 47.7 | 52.3 | 52.3 | 44.2 |

- 表内の薄い網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。
- 表内の濃い網掛け部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。
- 表中の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合(%)は、それぞれの回答数を合計して算出し、小数点第2位以下を四捨五入している。このため、グラフ中の構成比の合計と一致しない場合がある。

施策に向けての一言 〈男女共同参画に関する意識について〉

問 25 は男女共同参画センターウェブについての認知を尋ねたものである。全体としては「知っている、利用したことがある」が 3.3%、「知っているが、利用したことはない」が 16.4%、「知らない」が 77.5%であるから、まだまだあまり知られていないということになる。「知らない」の割合が 30 歳代以下の男性および 20 歳代以下の女性において、全体に比べて特に多い傾向があることは今後の課題であろう。

問 26 は男女共同参画センターウェブで行なっている事業に対する認知を、ウェブ自体を知っている人に尋ねたものである。「各種講座や講演会の開催」については 61.8%と最も多い。しかしこれ以外の「図書・資料コーナー（関連図書や資料等の貸出）」(43.6%)、「女性のための相談室」「市民が企画・参画するイベントや講座の開催」（いずれも 36.0%）、「学習室の貸出」（17.6%）についてはいずれも 50%を超えておらず、事業の周知が望まれる。

問 27 は男女共同参画における関心がある分野について回答者全員に尋ねている。「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計の割合が 50%を超えているのは、「女性の経済的自立」（53.5%）、「あらゆるハラスメントと性暴力の根絶」（53.4%）、「男性の家事・育児・介護への積極的な参画」（53.2%）、「ワーク・ライフ・バランスの実現」（50.2%）である。この回答を性・年齢別に見ている 49 ページの表を見ると、20 歳代男性では「あらゆるハラスメントと性暴力の根絶」「ワーク・ライフ・バランスの実現」といった分野で、全体よりも高い関心が示されている。また 30 歳代男性においては「男性の家事・育児・介護への積極的な参画」「ワーク・ライフ・バランスの実現」への関心がそれぞれ全体に比べて高い。このような観点から 20 歳代、30 歳代の男性へのアプローチが進むことに期待したい。なお 30 歳代以下の女性はすべての項目について全体よりも顕著に高い関心を示している。男性と併せてこの世代へのアプローチには希望が持てそうである。

問 28 は「あなたは社会における女性活躍のあり方をどのように考えますか。」と尋ね、その回答を「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」のいずれかを回答者に選んでもらっている。最も多かったのは「女性だけが考える課題ではなく、男性も考えるべき課題である」に対する賛意（87.5%）であった。また「女性が就職や就労を継続するためには、男性も積極的に家事、育児、介護等に参画する必要がある」についても 86.0%が賛意を示している。一方、相対的に賛成が少ない項目は「女性のリーダーや管理職など意思決定層を増やす方がよい」で、それぞれ「そう思う」が 28.3%、「どちらかといえばそう思う」が 34.8%である。「女性のリーダーや管理職など意思決定層を増やす方がよい」という項目を性・年代別に見ると（51 ページの表）、20 歳代の女性（N=50）において最も賛意が多い（76.0%）。

（関西学院大学 山田真裕）